2000年度

# ムーブメント教育・療法夏期セミナー

発達と療育を援助する実践講座

＜福井会場＞

期間：2000年８月５日㈯～８月６日㈰

会場：清水台保育園・清水町きらら館

主催：日本ムーブメント教育・療法協会
主管：日本ムーブメント教育・療法協会北陸支部
後援：福井市・福井市教育委員会

# 福　井　会　場

## 発達と療育を援助する実践講座

| 8月5日(土) | | 清水台保育園 ／ 清水町きらら館 |
|---|---|---|
| 8:30 | ＜受　　付＞ | |
| 9:00<br>9:40<br>10:00<br><br>11:00<br>11:20 | ＜施設見学＞ 清水台保育園<br>＜挨　　拶＞<br>＜公開実技＞ ①２歳児における取り組み<br>②４・５歳児における取り組み<br>＜コメント＞ ①<br>② | <br>竹内麗子<br>中野雅恵<br>吉田久美子<br>飯村敦子<br>小林芳文 |
| ＜移動＞　＜昼食（きらら館にて）＞ | | |
| 12:00 | ＜受　　付＞ | |
| 12:45 | ＜開会式＞ | |
| 13:00<br>14:00 | ＜講　　演＞ 生きる力を育むムーブメント教育とは | 小林芳文 |
| 14:15<br>15:30 | ＜実　　技＞ 保育・教育・療育に生かすムーブメント遊具の使い方 | 小林芳文 |
| 15:45<br>17:00 | ＜実　　技＞ 楽しい動きづくりとムーブメント風景 | 安藤正紀 |

| 8月6日(日) | | 清水町きらら館 |
|---|---|---|
| 8:30 | ＜受　　付＞ | |
| | 分科会 A（実践報告） | 分科会 B（実践報告） |
| 9:10<br>9:50 | 未満児に生かすムーブメント<br>立石寿子 | 障害乳幼児に生かすムーブメント<br>酒井千佳子 |
| 9:50<br>10:40 | 幼児に生かすムーブメント<br>荻原慶子 | 学童障害児に生かすムーブメント<br>森下晴美 |
| 11:00<br>11:30 | 統合保育に生かすムーブメント<br>北野真知子 | 障害者に生かすムーブメント<br>橋詰たまよ |
| 11:30<br>11:50 | 助言<br>増田まゆみ | 助言<br>小林芳文 |
| ＜昼食＞ | | |
| 13:00<br>14:15 | ＜講　　演＞ 新保育所保育指針に生かすムーブメント教育の進め方 | 増田まゆみ |
| 14:30<br>15:30 | ＜実　　技＞ ミュージックムーブメント教育 －音楽で動きと感性を育てる－ | 飯村敦子 |
| 15:30<br>15:40 | ＜閉会式＞ | |

会　場

●清水台保育園
福井県丹生郡清水町グリーンハイツ1-128
ＴＥＬ（0776）98－2135
ＦＡＸ（0776）98－3437

●清水町きらら館
福井県丹生郡清水町風巻20-17
ＴＥＬ（0776）98－3700

8／5　9:00～9:40

《施設見学》

# 清 水 台 保 育 園

8／5　9:40～10:00

《挨　　拶》

# 清水台保育園　施設概要説明

清水台保育園園長　ＪＡＭＥＴ専門指導員　**竹内　麗子**

8／5　10:00～11:00

《公開実技》

# 2歳児におけるムーブメント活動の実践

清水台保育園３歳未満児主任保育士　ＪＡＭＥＴ上級指導員　**中野　雅恵**

未満児保育（０～２歳児）におけるムーブメント教育の達成課題として、『感覚運動機能の向上』『身体意識能力の形成』『初歩的な時間・空間概念の形成』があげられます。活動的には少なくみえる年令ですが、発達の特に著しい時期であり、人間の諸機能の土台づくりという重要な時期を私たちはかかわっています。子どもは、今発達しつつある部分を大いに使い、動かして成長発達していくことを頭におき、優しく、楽しい動きづくりの環境（物的、人的）を提供し、心身ともに満足できる遊びが経験できるよう心がけています。

## ★ペンシルバルーンを使ったムーブメント

### ◎どんな感じかな？

バルーンの感触を味わう。また、振ったり、とばしたり、手の操作性を育てながら遊ぶ。

### ◎まあるくなったよ

バルーンの形が変わるとどんな遊び方ができるでしょう？

身体意識を育てることをねらいとして遊ぶ。

◎〝お花の国〟に出かけよう！

ペンシルバルーンを組み合わせてみると、動きづくりの環境が工夫できる。ファンタジックな雰囲気を作り、楽しく動きながら、動きの基礎を育てたり、初歩的な目と手の協応性を育てる。

8／5　10:00～11:00

《公開実技》

# 4・5歳児におけるムーブメント活動の実践

清水台保育園3歳以上児主任保育士　ＪＡＭＥＴ上級指導員　吉田久美子

ムーブメント教育は「環境からの問いかけを重視し、その環境をどのように使うかを教える教育」ともいえる。日常保育の中で『動きたくなる環境』『触りたくなる環境』『関わりたくなる環境』を用意することで、子どもの心をゆさぶり、動きを学び、さらに考える力を育てることにつながっていく。

子どもの興味、自発性、そして動きのバリエーションを考える中で、遊具や教材がどのように生かされているか、保育の流れの中で取り組んでいるムーブメント活動を一緒に楽しんでいただきたい。

＜ねらい＞ クリエイティブな動きの中で知覚的発達を育てる

＜主なムーブメント教材＞ パラシュート・ビーンズバック・うきわ

◎イメージによる働きかけ

音楽の導入により、動きを引き出す

◎『動』と『静』のバランスの配慮

◎ 魅力的な教材へのアプローチ

◎ 満足感に満ちた活動の終わり方

8／5　13:00～14:00

《講　演》

# 生きる力を育むムーブメント教育

横浜国立大学教授 ＪＡＭＥＴ顧問　小林　芳文

「動くことは、生命の源である。そして発達の力である。それは、身体を育て、頭を育て、心を育てる」

この基本となる理論をベースに、ムーブメント教育の学問が生まれた。

## 1．M.フロスティックに出会って

人間尊重の教育、ムーブメント教育の祖、ＬＤの教育

## 2．脳性麻痺　ゆきちゃんに出会って

たけのこ教室と共に

## 3．ムーブメント教育とは

ムーブメント教育は、自然な方法で動きを拡大し、動きを通して認知機能を高めることを目的とした発達教育である。楽しい軽運動のムーブメントで、子どもの健康と幸福感は満たされる。

### 1）ムーブメント教育の特徴

①人間発達の基礎作りの教育

②全面発達のための教育

③活動中心、子ども中心の教育

④幸福感の達成を目指した教育

### 2）ムーブメント教育が障害児に位置づく根拠

①動きづくりが自然にできる

②感覚の活性化が楽しくできる

③教科学習のステップが踏める

④知覚の発達や連合諸機能が援助できる

3）S．ナビールの考え －なぜ障害児に必要か

①多くの感覚の活性化に役立つ

②動きの能力の拡大

③ファンタジーの刺激や自己表現に役立つ

## 4．ムーブメント教育は発達教育である

### 1）発達には広がりと流れがある

◦発達の領域 － 身体（からだ）、認知（あたま）、情緒（こころ）

◦発達には流れがある － 感覚運動期、言語期、知覚期、高次認知期、情緒期

（ムーブメント教育はどの広がりでもどの流れでも関わりうる）

### 2）発達の育ちと教育の方向を探るアセスメント

①ＭＥＰＡ（ムーブメント教育プログラムアセスメント）

②ＭＥＰＡ－Ⅱ（重度重複障害児（者）の感覚運動アセスメント）

（いずれもＩＥＰとＩＦＳＰのために役立つチェック表）

## 5．ムーブメント教育の達成課題（M.Frostig）－何が育てられるか

### 1）主な課題

①感覚運動機能の向上

②身体意識の形成

③時間・空間、その因果関係意識の形成

④心理的諸機能の形成

### 2）その他の課題 －さらに発展できる課題

◦教科学習へのムーブメント教育の関係　◦数、順序、方向性　◦言語と概念の発達

◦問題解決能力の発揮　◦行動のコントロール　◦創造性　◦社会的な態度とスキルの発達

参考文献：ムーブメント教育の実践① 対象別指導事例集　学研

8／5　14:15～15:30

《実　　技》

# 保育・教育・療育に生かすムーブメント遊具の使い方

横浜国立大学教授　ＪＡＭＥＴ顧問　小林　芳文

ムーブメント教育は、どの人にも必要な発達教育である。発達とは、どの様な現象をいうのであろうか。それが環境への適応であるとした時、我々が、子どもにすばらしい環境を提供し、それで健康と幸福が支えられたら幸いである。

ここでは、発達の流れを必要としている子ども、特に障害のある子どものために、感覚運動から知覚運動、そして精神運動のためのムーブメント教育の環境設定を取り上げ、環境としての遊具の使い方を考えてみよう。

## １．発達と環境の適応

ムーブメント教育を進めていく上で、環境への適応の段階は、以下の３段階を参考にするとよい。

### 1）ムーブメント教育を進める上での環境適応の段階

第一段階：身体意識の形成に関する能力…自分自身に気づく

第二段階：事物との統合に関わる能力…物を操作できるようになる

第三段階：社会意識に関する能力…人との関わりができるようになる

### 2）ムーブメント教育の環境における感覚・知覚・精神機能の関わり

①感覚運動教育のために

（環境設定の考え方）… 主に身体の揺れ感覚（前庭感覚）、触筋感覚、基礎的な動きの拡大に向けて

いろいろな感覚が参加できる教育

- 揺れを楽しみたくなる
- 触りたくなる
- 動きを要求したくなる

②知覚運動教育のために

（環境設定の考え方）… 主に視知覚、聴知覚、触筋知覚、発展的な動きの拡大に向けて

知覚機能が参加できる（したくなる）教育

- 視知覚と運動の連合
- 聴知覚と運動の連合
- 時間空間知覚と運動の連合
- 協応性が発揮できる運動

③精神運動教育のために

（環境設定の考え方）… 主に高次認知機能、言語、社会的機能、創造性、問題解決能力の拡大に向けて

ファンタジー、イメージを膨らましたくなる教育

- 創造的ムーブメントとして
- 視覚聴覚運動連合のムーブメントとして
- 協調機能・集団でのムーブメントとして
- 教科学習機能として
- ファンタジームーブメントとして

## 2．実技で使用するムーブメント遊戯（予定）

- ユランコ遊具
- 形板遊具
- ビーンズバック
- パラシュート
- リボン

8／5　15:45～17:00

《実　　技》

# 楽しい動きづくりとムーブメント風景

神奈川県教育庁教育部障害児教育課指導主事　ＪＡＭＥＴ専門指導員　安藤　正紀

＜今日のプログラムのヒント＞

(1) 記憶のプログラム

流れ星（個人）

伝言ゲーム（グループ）

(2) 問題解決プログラム

鬼に捕まらないで（グループ）

脱出せよ!!（個人）

(3) 空間把握のプログラム

迷わないで（個人）

## ＜走行ムーブメント活動と達成課題＞

生演奏に合わせて体育館を周回走しながら、いろいろな動作、姿勢維持、変換、簡単な遊具操作を行う。

### (1) 基本的な動きや運動機能を育てる

| | |
|---|---|
| ① 基本的な動き | 走る、歩く、まわる、揺れる、転がる、這う、跳ぶ、立つ、座る等の動き |
| ② 粗大な動き<br>微細な動き | つまさき歩き、かかと歩き等の微細な調整を必要とする動き |
| ③ 姿勢･動作の変化<br>（敏捷性）<br>（バランス） | 基本的な姿勢・動きをいろいろに組合せ、すばやくそして複雑に変化させる |
| ④ 簡単な操作 | 簡単な遊具を使って動く（フープ、棒、風船、ボール、ビーンズバック、ハットフリスピー、クニャクニャスティックなど） |

### (2) 身体意識を育てる

| | |
|---|---|
| ① 身体部位の意識 | 頭、肩、お腹、膝、足首、つま先、かかと等の意識 |
| ② 身体図式<br>（身体両側性機能）<br>（ラテラリティ）<br>（方向性）<br>（正中線交叉能力） | 人にぶつからないで動く、くぐったり、転がったり、回ったり、両上下肢の複合運動、上下・左右・前後に動く、正中線校叉運動など |

### (3) 時間や空間の意識・知覚機能を育てる

| | |
|---|---|
| ① 空間の概念 | 広い・狭い空間、高い・低い空間の意識 |
| ② 時間の概念 | 速い、遅い、静止の動き |
| ③ 模倣力 | いろいろな姿勢・動作の模倣 |
| ④ 視覚と聴覚と<br>動きの連合 | 合図、ことば、音楽、デモンストレーション等により自分の動きを変化させる |

### (4) 言葉を育てる、社会性を育てる、創造性を育てる

| | |
|---|---|
| ① 感情を豊かにする | 動きの言葉、ようすの言葉を理解する |
| ② イメージする | |
| ③ 記憶する | |
| ④ 考える | |
| ⑤ 判断する | |
| ⑥ 行動の切り替え | 変化のある繰り返し |
| ⑦ 社会性 | ペア、グループでの動き |
| ⑧ 創造する | 個人パフォーマンス |

8／6　9:00～9:50

分科会 A《実践報告》

# 未満児に生かすムーブメント

鹿苑第二保育園園長　ＪＡＭＥＴ専門指導員　立石　寿子

動くことは、子どもの発達において、自分を知ると同時に世界を知ることであると言われるほど大切なことです。

このたいせつな「動き」に快さや楽しさが加わることで、心身の諸機能が発達するだけでなく、意欲や社会性も育ってきます。

私達は、子どもの側に立ち、喜びや自発性を大切にし情緒の安定を図りながら、心身の調和的な発達を促進させるよう人的環境・物的環境を整え、動き作りや発達の援助を行っています。

発達の入口ともいえる、０・１・２歳児期に土台となる感覚機能を十分に刺激し、健康な身体を作り、「からだ・あたま・こころ」が一緒に育つ環境作りに努めています。

## ☆感覚運動能力

### ① 豊かな触感覚を育てる

ふわふわ・ぽんぽん・きもちいいね

### ② 筋感覚を育てる

小さくなって、大きくなって

### ③前庭感覚を育てる
いろんな揺れを楽しもう

### ④動きの基本を育てる
こんなことできるかな？？

### ⑤指先・手首・腕の操作を育てる

### ⑥簡単な社会性を育てる

### ☆配慮として
子どもは本来自分で育つ力、伸びる力を持っています。私たち保育者は、人的環境・物的環境を整え、常に子ども達が心身共に安定した状態で生活ができるよう援助していますが、ここで大切なことは個をしっかりと見つめるという事です。

発達には個人差があるということを忘れず、快い・楽しい雰囲気の中での色々な事を経験させる中で自主性や創造性を育てていけるよう、センスをみがき、ムーブメント教育を通して子ども達とのコミュニケーションを、大切にしていきたいと思います。

8／6　9:50～10:40

分科会 A《実践報告》

# 幼児保育に生かすムーブメント

玉ノ江保育園主任保育士　JAMET上級指導員　荻原　慶子

幼児期の間に、十分に認められ、受容されるということは、子ども達にとってとても大切なことです。ムーブメント教育では、集団のプログラムの中に於いても、子どもの気持ちを大切にする子ども中心の方法をとっています。子ども中心という基本方針の中で、問いかけ、又、援助していくことによって『できたね！』『できるよ！』と認められ、受容されていくのではないのでしょうか。そしてそれが一人一人の子ども達の『できた！』『できる！』の達成感、そして自信につながっていくのではないのでしょうか。

今回は、知覚運動（視知覚・聴知覚）、精神運動（創造性・表現）を中心に、子ども達にとっても保育士にとっても、楽しい環境づくりができたらと思います。

≪テーマ≫「怪獣なんかこわくない」

ねらい
- 身体意識を高める
- 知覚連合能力を育てる
- 社会性を育てる
- 創造性を育てる

①これは何？（触感覚を高める）

②車に乗って Let's Go！（聴知覚と時間空間意識）

③ぎゃー怪獣だ！（身体意識を高める）
（社会性を育てる）

④道を作ろう（身体意識を高める）
（言語記憶を育てる）

⑤ここには宝物（創造性を育てる）

⑥宝物バンザイ（ファンタジックな世界を楽しむ）

≪まとめ≫

ムーブメントをしている時の子ども達の表情は、どの子も生き生きとしています。それは、子ども達一人一人が認められ、自分を表現できる空間・環境があるからだと思います。

その為には、

1）子ども達の現在の発達段階を把握し、そこから始める事
2）できる・できた、という成功感を保証する事
3）指導者が一方的に教えるのではなく、子ども達の内からでてくる要求を感じ、援助し、ひきだす事
4）何よりも、子ども達が楽しかったと感じることが必要だと思います

8／6　11:00～11:30

分科会 A《実践報告》

# 統合保育にいかすムーブメント

はぎの保育園主任保育士　ＪＡＭＥＴ上級指導員　**北野真知子**

## 1．ムーブメントに出会って

◦障害を持ったお子さんとの出会い

◦みんな生き生き

## 2．現在の当園での取り組み

◦全盲のＩ君を受け入れるにあたって

◦Ｉ君をどのように援助するか

## 3．お母さんはすばらしい！

◦お母さんが前向きで、Ｉ君のことを良く考えてくれた

◦障害を持つ親が心理的に通過する過程（上田敏氏）

ショック期 － 否認期 － 混乱期 － 解決への努力期 － 受容期

## 4. Ｉ君の成長の様子

。ＯＨＰにてＩ君の成長の様子を紹介

。11ヶ月～5歳の現在まで

## 5. 保育者同士の意志の統一

。障害を持っている子どもさんを受け入れるとき

。保育者の姿を子どもはまねる

## 6. ネットワーク作り

。たけのこ教室からネットの輪が広がった

。保育園・各専門の病院・学校との連携、保険センター・福祉事務所・市町村の行政等々の連絡

8／6　9:10～9:50

分科会 B《実践報告》

# 障害乳幼児に生かすムーブメント

たけのこの家所長　ＪＡＭＥＴ上級指導員　酒井千佳子

昭和55年、一人の、ハンディを背負った女の子の出生をきっかけに始まったのが、「たけのこムーブメント教室」を中心とした障害児教育です。

ムーブメント教育は、訓練ではなく、遊びの感覚で、子どもの「快い」「楽しい」という気持ちを最大限に生かしながら、動きを育てるものであり、それが引き金となって、身体的、精神的な成長、発達を促す教育です。又、それらは、子どもの情緒や人格を大切にし、自然な方法で動きを通して諸機能の発達を促すものであり、子どもの健康と幸福感の達成を重視するものです。

## 1．地域福祉研究センターとしての役割

◦「ひまわり教室」の統合保育

◦心身障害児童クラブ「たけのこの家」の活動

## 2．たけのこムーブメント教室について

◦目的と活動

◦たけのこムーブメント教室を支えるネットワーク

◦子どもの成長を確認する方法（ＭＥＰＡ）

## 3．実技　－傘袋を使ってのムーブメント－

①ビニール袋の音と感触を楽しむ

＊触感覚・聴覚への刺激

②音のなるものを入れてタッピング

＊身体意識を養う

③お池の中にうまく入るかな！

＊操作能力を育てる・空間意識を育てる

④おさかなと一緒に泳ごう

＊触感覚・前庭感覚を養う

⑤おいしい果物はとれたかな

＊目と手の協応性を養う

⑥傘袋でのパフォーマンス

＊社会性を育てる

## 4．まとめ

「いきいきムーブメント教育」より

## 配 慮 点

◦家庭に持ち帰って親子で遊べるよう、身近にあるものを利用し、遊び方の指導をする。

◦「動」と「静」の遊びを交互に繰り返すことにより、遊びに対する集中時間を長くする。

◦個人発表を取り入れることにより、個々の自信と意欲につなげていく。

◦みんなの顔が見えるよう、輪になって全員で遊ぶ場面を必ず入れ、一緒に遊ぶ楽しさを知らせ、社会性を育てていく。

◦最後に、楽しかったことを思い起こし話し合うことで、記憶の再現が出来、又、次回に期待をもってプログラムを終了させる。

8／6　9:50～10:40

分科会 B《実践報告》

# 学童障害児に生かすムーブメント

福井県立福井南養護学校教諭　ＪＡＭＥＴ中級指導員　**森下　晴美**

## 1．ムーブメント教育の取り組みの中で

⑴教育課程上での位置づけ

⑵ＭＥＰＡ、ＭＥＰＡ－Ⅱ　アセスメントと指導プログラム事例

## 2．福井県立清水養護学校での実践　ＶＴＲ報告

⑴肢体不自由児を併せ持つ重度重複児童との学習活動

⑵交流学習でのムーブメント活動

⑶揺れ遊具の紹介

## 3．パラシュートを使おう

### (1) 感覚運動

＜かくれんぼ＞［触（皮膚）感覚・視覚・聴覚刺激］

- ◦いないいないばあ
- ◦出ておいで

＜揺れよう＞［主に前庭覚刺激］

- ◦スクーターボードと組み合わせて水平刺激
- ◦垂直性の刺激

＜風を感じよう＞［触（皮膚）感覚・視覚刺激］

### (2) 知覚運動

＜よく聞いてよく見て＞

＜手はどこに？　足はどこに？＞

### (3) 精神運動

＜夏だ！＞

8／6　11:00～11:30

分科会　B《実践報告》

# 障害者に生かすムーブメント

総合福祉施設あけぼの園主任指導員　ＪＡＭＥＴ上級指導員　**橋詰たまよ**

障害を持つ18歳以上の人達の為に設立された通所施設あけぼの園は、〝生活を豊かにする学びの場〟としての通所更生施設ライフカレッジあけぼのと、〝幸福を支える仕事の場〟としての通所授産施設ワークあけぼの、〝生きる力を大切にする活動の場〟としてのデイサービスセンタープラザあけぼのの三つ施設があります。通所されている方の多くは重度の重複障害者であり、あけぼの園の日々の生活を通して、生活の自立や社会的自立を目指すと共に、生きがいを高める事を目的としています。そして、ムーブメント教育は生活の中で、ＱＯＬ〝豊かな生活〟を支えるものであり、健康と生活の中に潤いを与え療育の中心として位置づけられるものです。

## 1．更生施設ライフカレッジあけぼの／デイサービスセンタープラザあけぼの のムーブメントの実際

<ねらい>

◦健康と生活のリズムを支える

◦機能の回復や維持を支える（生命維持）

◦人とかかわる力（人間関係）を支える

## 2．授産施設ワークあけぼののムーブメントの実際

<ねらい>

◦余暇活動を支える

◦スポーツや軽運動を支える

◦レクリエーションを支える

◦人間関係を支える

◦機能の回復や維持を支える

## ３．成果と今後の課題

あけぼの園でのムーブメント実践は開園以来継続して取り組んで来ました。それぞれの施設で全体的に、又、個別的に少しずつ成果が見えて来ています。

<成果>

ライフカレッジあけぼの
プ ラ ザ あ け ぼ の

- 生活のリズムが良くなった
- 健康の力の向上
- 活動意欲が高まる
- 人に対する意識が高まる
- 知的発達が見られる（認知力・操作力の向上、言語理解の向上、言葉の表出向上）

ワークあけぼの

- 社会性の向上（人間関係における、やさしさ・いたわり）
- 集中力の向上（作業面においての集中力のアップ）
- 楽しんで軽運動ができる

<課題目標>

ライフカレッジあけぼの
プ ラ ザ あ け ぼ の

- ＡＤＬの向上につなげていく
- 機能の回復や維持に結びつける
- ＭＥＰＡの活用（個別計画）

ワークあけぼの

- 運動能力の向上
- 作業能力の向上
- 自発性の向上

今後のあけぼの園におけるムーブメント実践は、ライフステージ全体のＱＯＬを支える柱として考え取り組んでいきたいと考えます。利用者一人一人の豊かな生活と生きる力を支援し、人格形成と自己実現に向けて援助し、幸福感の達成実現に向けて努力していきたいと思います。

8／6　13:00～14:15

《講　演》

# 新保育所保育指針に生かすムーブメント教育の進め方

小田原女子短期大学教授　ＪＡＭＥＴ理事　増田まゆみ

## 1．今、子どもたちは・親は・地域は

＊家庭が・園が子どもにとってやさしい生活の場になっているか

＊子育ては楽しい？　苦しい？

＊子育ては誰が

＊子育ての伝承

## 2．保育所保育の基本

保育所における保育は、乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしいものでなければならない

子どもは豊かに伸びていく可能性をそのうちに秘めている。その子どもが、現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す基礎を培うこと

保育の目標

↓

保育の方法

イ．子どもの発達について理解し、子ども一人一人の特性に応じ、生きる喜びと困難な状況への対処する力を育てることを基本とし、発達の課題に配慮して保育する

エ．子どもが自発的、意欲的に関われるような環境の構成と、そこにおける子どもの主体的な活動を大切にし、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように遊びを通して総合的に保育を行う

オ．一人一人の子どもの活動を大切にしながら、子ども相互の関係づくりや集団活動を効果あるものにするよう援助する

## 3．保育所保育指針の保育観・発達観

子どもの発達は、子どもと子どもを取り巻く環境内の人や自然、事物、出来事などとの相互作用の結果として進んでいく。
その際、そこに主体的に関わっている子ども自身の力を認めることが大切である。すなわち、発達とは、子どもが心身の自然な成長に伴い、それぞれの子どもに応じた自発的、能動的な興味、好奇心や、それまで身につけてきた知識、能力を基にして、生活環境内の対象へ働きかけ、その対象との相互作用の一結果として、新たな態度や知識、能力を身につけていく過程である。

（第２章　子どもの発達）

↓

環境による保育・教育

↓

遊びを通しての総合的な保育

## 4．保育所保育指針で示す「保育の環境」

保育の環境には、保育士や子どもなどの人的環境、施設や遊具などの物的環境、さらには、自然や社会事象などがある。そして、人、物、場が相互に関連し合って、子どもに一つの環境状況をつくり出す。
こうした環境により、子どもの生活が安定し、<u>活動が豊かなものとなるように、計画的に環境を構成し、工夫して保育することが大切である。</u>

↓

子どもにやさしい環境を構成する

## 5．あらためてムーブメント教育とは

| 遊びを原点とした発達教育 |
|---|

（フレーベル　遊びこそ子どもの内面的なものの自主的な表現にほかならない）

| 子どもの幸福感をめざす教育 |
|---|

人間発達の基礎作りの教育・全面発達のための教育・人間尊重の教育

## 6．保育実践では

発達遅滞児のためのムーブメント教育 ～ 統合保育・教育へ、さらにインクルージョンへ

日常の保育実践

地域の子育て支援

## 7．これからの保育に求められるもの

| 子ども・家庭・地域にやさしい保育所・保育者 |
|---|

| 発達観・保育観に裏づけられた保育 |
|---|

| 保育所・家庭、保育者・保護者とのパートナーシップ |
|---|

子育ての意義・喜びを共有する

| 子育てを次世代へ伝承 |
|---|

8／6　14:30～15:45

《実　　技》

# ミュージックムーブメント教育

## －音楽で動きと感性を育てる－

東京福祉大学助教授　ＪＡＭＥＴ専門指導員　**飯村　敦子**

子どもが、何かを描きながら、楽しそうにハミングしている姿や、アニメの主題歌が聞こえると、思わず手拍子を打ったり、飛び跳ねて踊り出す姿は、よく見られる光景です。これらの光景は、彼らの心に湧き出した喜びや楽しさが音楽を作り出したり、また、音楽が彼らの心を揺さぶり、身体の動きとなって表現された場面であると言えましょう。子ども達は生活（遊び）の中で、ごく自然に音楽を作り出したり、音楽を受け止めて、動くことで表現します。このような子どもの姿から、私達は、彼らの心と身体（動き）、そして、音楽の非常に深い関わりを感じずにはいられません。

ところで、幼稚園教育要領や保育所保育指針（３歳以上児の保育内容）の領域に「表現」があります。この領域では、豊かな感性を育てること、感じたことや考えたことを表現する意欲や創造性を豊かにする（創造性の芽生えを培う）ことをめざして、ねらいと内容が示されています。ここでのキーワードである『感性』とは、「何かに接して、何らかの印象を感じ取る、その人の直感的な心の動き。感受性」といわれ、又、『子どもの感性』とは、「素朴にものごとを感じとる心、様々な現象を敏感に気づき心を動かすことのできる力である」といわれています。この「感じること、感動する心」は、幼児教育、保育の中で第一に育ててあげたいものであるといっても過言ではありません。それは、こうした「感じとり、感動する心」が基盤となって、子どもの側からの表現しようとする心・力へとつながっていくからです。その際に、保育者自身の『感性』が大きな影響を持つことはいうまでもないことでしょう。

私達が音楽を受け止め、その時、感じたまま動こうとする時には、自分自身を取り巻く環境の一要素としての音楽や音に耳を傾け、能動的に関わっていく姿勢を持つことが大切であると思います。そこで、「音楽で動きと感性を育てる」ことに焦点をあて、研修会に参加された方々と共に美しい音や音楽、遊具を手がかりに、自らが感じながら動く幾つかのデモンストレーションを行いたいと思います。

## *** The Plan of Demonstration ***

＊見ることを手がかりに音を創り出すこと

＊音を聴くことを手がかりに動きをコントロールすること

＊音楽を聴いて動きを拡げていくこと

＊流れる音楽とイメージ、共感する喜びを得ること

セミナー《福井会場》スタッフ

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 本部 | 佐々木正寛 | | | | |
| 北陸支部長 | 竹内　文憲 | | | | |
| 事務局 | 今井　瑩徳 | | | | |
| 司会進行 | 新保　善正 | 古市　信弘 | 新保　裕子 | | |
| 講師 | 小林　芳文 | 増田まゆみ | 安藤　正紀 | 飯村　敦子 | |
| 公開実技 | 中野　雅恵 | 吉田久美子 | | | |
| 実践報告 | 立石　寿子 | 荻原　慶子 | 北野真知子 | 酒井千佳子 | 森下　晴美 |
| | 橋詰たまよ | | | | |
| 係総括 | 木村　康治 | | | | |
| 受付 | 吉村喜久子 | 木村加寿子 | 坂井　浩子 | 島田裕香子 | 藪内美津江 |
| | 豊岡　澄美 | 塩田　智美 | 木村　公江 | | |
| 控室接待 | 菅原ひろみ | 竹内　麗子 | 山崎　麗子 | 細野トメ子 | 梅木　澄代 |
| | 片山江美子 | 古市まゆ美 | 栃木千鶴美 | | |
| 機器操作 | 中野　雅恵 | 中川智佐世 | 小永　直美 | | |
| 書籍販売 | 大和　洋子 | 小林　千晶 | 髙島　智子 | 中村　美樹 | 安田　鈴子 |
| | 佃　怜奈 | 島倉巳知代 | | | |
| 記録 | 竹内　誠 | | | | |

## 日本ムーブメント教育・療法協会　北陸支部加盟施設

| 県名 | 施設名 | 〒 | 住所 | TEL | FAX |
|---|---|---|---|---|---|
| 福井県 | 総合福祉施設 あけぼの園 | 918-8223 | 福井市河水町5-1-1 | 0776-52-5575 | 0776-52-5585 |
| | 玉ノ江保育園 | 918-8018 | 福井市大島町柳504 | 〃 36-7634 | 〃 36-5382 |
| | 杉の木台保育園 | 918-8186 | 福井市中野1-2105 | 〃 38-3588 | 〃 38-3539 |
| | 鹿苑第一保育園 | 918-8005 | 福井市みのり2-3-44 | 〃 35-2059 | 〃 35-6414 |
| | 鹿苑第二保育園 | 〃 | 〃 | 〃 35-2075 | 〃 35-6415 |
| | あさひ保育園 | 910-2178 | 福井市栂野町2-53 | 〃 41-3022 | 〃 41-3841 |
| | あさむつ保育園 | 918-8017 | 福井市下荒井町4-76 | 〃 38-2772 | 〃 38-2772 |
| | たけのこの家 | 918-8018 | 福井市大島町柳506 | 〃 36-0523 | 〃 36-0523 |
| | 清水台保育園 | 910-3604 | 丹生郡清水町グリーンハイツ1-128 | 〃 98-2135 | 〃 98-3437 |
| | はぎの保育園 | 916-0202 | 丹生郡織田町細野73字 | 0778-36-0396 | 0778-36-1967 |
| | あさがお保育園 | 916-0147 | 丹生郡朝日町内郡4-13-2 | 〃 34-1110 | 〃 34-1110 |
| 石川県 | 泉の台幼稚舎 | 921-8034 | 金沢市泉野町4-4-3 | 076-243-6775 | 076-243-6747 |
| | 真行寺六美苑保育所 | 920-0935 | 金沢市石引2-4-23 | 〃 221-5206 | 〃 221-9560 |
| | 小丸山保育園 | 926-0852 | 七尾市小島町イ部58-1 | 0767-53-3700 | 0767-53-3738 |
| 富山県 | 上市保育園 | 930-0343 | 中新川郡上市町東町66 | 0764-72-0264 | 0764-72-0264 |
| 兵庫県 | 同朋にこにこ保育園 | 651-2243 | 神戸市西区井吹台西町4-6 | 078-996-1525 | 078-996-1526 |

北陸支部事務局 ・ 心身障害児教育治療母子通園センター たけのこムーブメント教室 実施施設

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 福井県 | 清水北児童館 | 910-3604 | 丹生郡清水町グリーンハイツ9-165 | 0776-98-3833 | 0776-98-3833 |